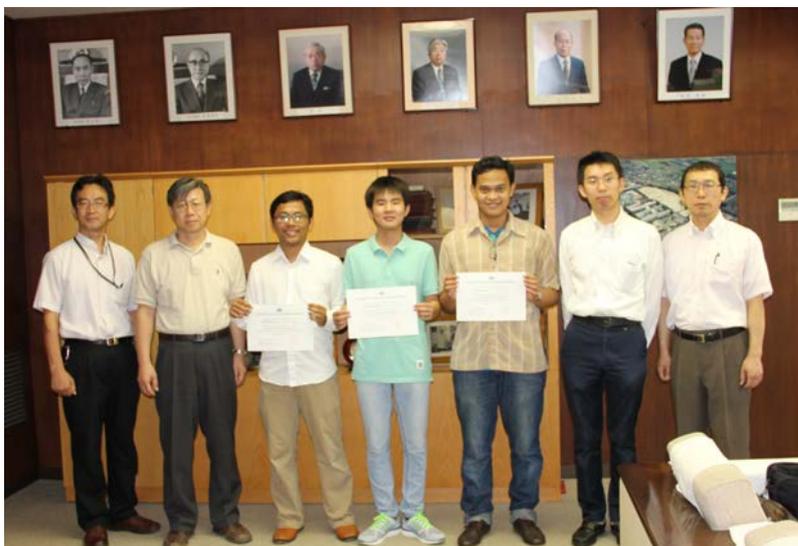


岐阜高専、交流協定締結のインドネシア・バンドン工科大学からの双方向受け入れインターンシップ修了式を挙げる

平成26年8月7日、岐阜高専は、7月16日以来3週間にわたって受け入れていたバンドン工科大学情報・計算機科学科・学部生3名のインターンシップ修了式を行った。岐阜高専は平成23年11月からバンドン工科大学(ITB, Institut Teknologi Bandung)と包括交流協定を結んでおり、一昨年来、岐阜高専専攻科生を、先方大学の研究室に送り、3週間の研究指導を受けるプログラムを実施している。今回、ITBから学部生を双方向交流として受け入れたものである。岐阜高専の電気情報工学科・出口研および田島研に学生を配属し、岐阜高専生とともにそれぞれのミニ研究テーマを実施するとともに、出身の大学、国、研究等の紹介を行い岐阜高専学生との交流を深めた。ITBへは、今年も岐阜高専からの派遣が決まっており、派遣予定学生との事前交流も行われた。この双方向協定型の短期交換プログラムは、JASSOの短期研修・研究型の受け入れ支援により初めて可能となった。岐阜高専学生・教員の国際化・グローバル人材育成に大いに寄与した。修了式では、懇談の後、和田国際交流室長ら立会いの下に、北田校長から学生に修了証書が手渡された。



バンドン工科大学情報・計算機科学科・学部生3名と校長、岐阜高専指導教員、国際交流室長のインターンシップ修了式後の記念写真